

《めざす子ども像》
自分の思いが言える子
相手の気持ちがわかる子
いろいろなことに挑戦する子

7月の生活目標：きれいな学校にしよう

通知表（あゆみ）の見方について

16日(水)、17日(木)と学期末懇談になっています。どうぞよろしくお願いいたします。特に通知表が初めての1年生は、どのようなものなのか、1学期どんな様子だったのかときどきされていることと思います。通知表は、各学期での子どもの学習過程の記録です。学校生活全般において、どのような内容で学習を頑張っていたのか、また、努力が必要なことが何かを表しているものです。

テスト結果だけでなく、授業に臨む態度や意欲、ノート等の提出物、学習の記録、成果物への取組姿勢や作品なども評価するようにしています。学級での順位や「よくできる」「できる」「もうすこし」の人数制限ありません。ですから、友達や兄弟等と比較をしたり、「よくできる」「もうすこし」の○の数を数えたりするのではなく、お子さんのできているところや伸びているところがさらに伸びるようにほめ、努力が必要なことについては一緒に課題に向き合い、支援していただければと思います。

【学習の記録について】

各教科の各観点のねらいの達成状況に応じて、「よくできる」「できる」「もうすこし」の3段階で評価しています。

基本的には、各観点のねらいが達成されていれば「できる」としています。

「できる」・・・各観点においてねらいが達成(十分からおおむね)されている状況であれば、「できる」に○が付きます。

「よくできる」・・・「できる」の中で、学習態度や発言内容などを含め、ねらいを大きく上回っている状況であれば「よくできる」に○が付きます。

「もうすこし」・・・観点のねらいが達成されていなかったり努力が必要であったりする場合には、「もうすこし」に○が付きます。

【行動の記録について】

他の子どもとの比較ではなく、個人の中で、特によく頑張っていたものには「よくできる」、頑張っていたものには「もうすこし」に○が付きます。

【総合的な学習の時間について】

総合的な学習の時間(3年生から6年生)は、各学年のテーマにそって、「活動への意欲・課題の見つける力・情報を集める力・課題を解決する力・伝え合う力・協働する力」などの力の中でどのような力が発揮できていたか、伸びてきたかを具体的に記載しています。

【外国語活動について】

週1時間、3・4年生で学習しています。学習への意欲や学習中の態度などを中心に記載しています。(5・6年生の外国語科【週2時間】は、教科になっていますので国語科などと同じように評価しています。)

【道徳について】

一面的な見方から多面的な見方へと発展しているか、道徳的な価値を自分との関わりの中で深めているかなどについて、発言内容やワークシートの記述内容から読み取りその子どもの伸びについて記載しています。

【活動の記録について】

一人一人の学校生活の中での頑張りやすばらしい行動などを具体的に記載しています。

【1年生の通知表について】

1年生の1学期の通知表は、小学校初めての通知表です。就学前の経験が一人一人違いますので、あわてず、ゆっくり、良い面を伸ばすようにしてあげてください。何よりもほめることが自信と意欲に繋がります。1学期の学習は、2段階評定で「よくできる」「できる」の両方を「できる」とし、もうひとつ頑張っていたほしいものを「もうすこし」としています。2学期からは、他学年と同じように各教科の観点別は「よくできる」「できる」「もうすこし」の3段階評定となります。

学期末懇談は、限られた時間ですが保護者の方と担任が1対1で話せる機会です。「こんなこと聞きたいな」「普段はどうなんだろう」「家ではこうだけど・・・」「夏休み、こんなことが心配・・・」等、遠慮なくご相談ください。（校長室もお待ちしております。いつでもお立ち寄りください。）



「家庭で取り組む・高知の道徳」②

1学期の2回目は「自分が言われて嬉しい言葉は、周りの人にも言いたいね」について、付箋に書き1階ホールに掲示しています。「ありがとう」「ごめんね」「一緒にやろう」「一人じゃないよ」「だいじょうぶ？」など、あったか言葉がたくさんありました。声に出さないと伝わらない場合もあります。何気ない一言でも相手も自分も嬉しい気持ちになる言葉もたくさんあります。あったか言葉を家族でもたくさん伝え合ってください。家族でも笑顔が増えること間違いなし!です。

第2回「全校道徳」では、「思いやりの心ってどんな心？」をテーマに話し合いました。まず始めに思いやりってなに？からスタートをした子どもも…。日常的に使っているものの理解できていない子どもがいることを、改めて気づくことにもなりました。このテーマは、ホールの道徳の掲示にも関連させたものでした。「挨拶や一つ一つの行動も思いやりになる」「相手の立場で考える」など、「思いやり」についてじっくりと考える時間でした。

第3回「全校道徳」は、「誰一人掃除をしなくなったら、学校はどうなる？」でした。出された意見を1階ホールのホワイトボードに残しています。「汚くなる」「学校に行きたくなくなる」などの意見に続いて「だから、どうする？」というところまで、考えられている子どももいました。汚くなるのはみんないやです。そうなる前に動ける子どもを増やしていきたいものです。



縦割り班で意見交流タイム